

おうちでずっと暮らしたい



1

救命・救急対応



2

ACPに関連した新しい取組

※分かりやすくするため、表現の一部が
法令、通知等と異なる場合があります。



東京消防庁救急部
救急管理課 鈴木 翔平





救命・救急対応

問：何の数字でしょう？

2,263件



救命・救急対応

1

答：2,263件は…

- **1日**あたりの平均救急出場件数
- 年間の救急出場件数は約**82万**件



救命・救急対応

問：何の数字でしょう？

約21分

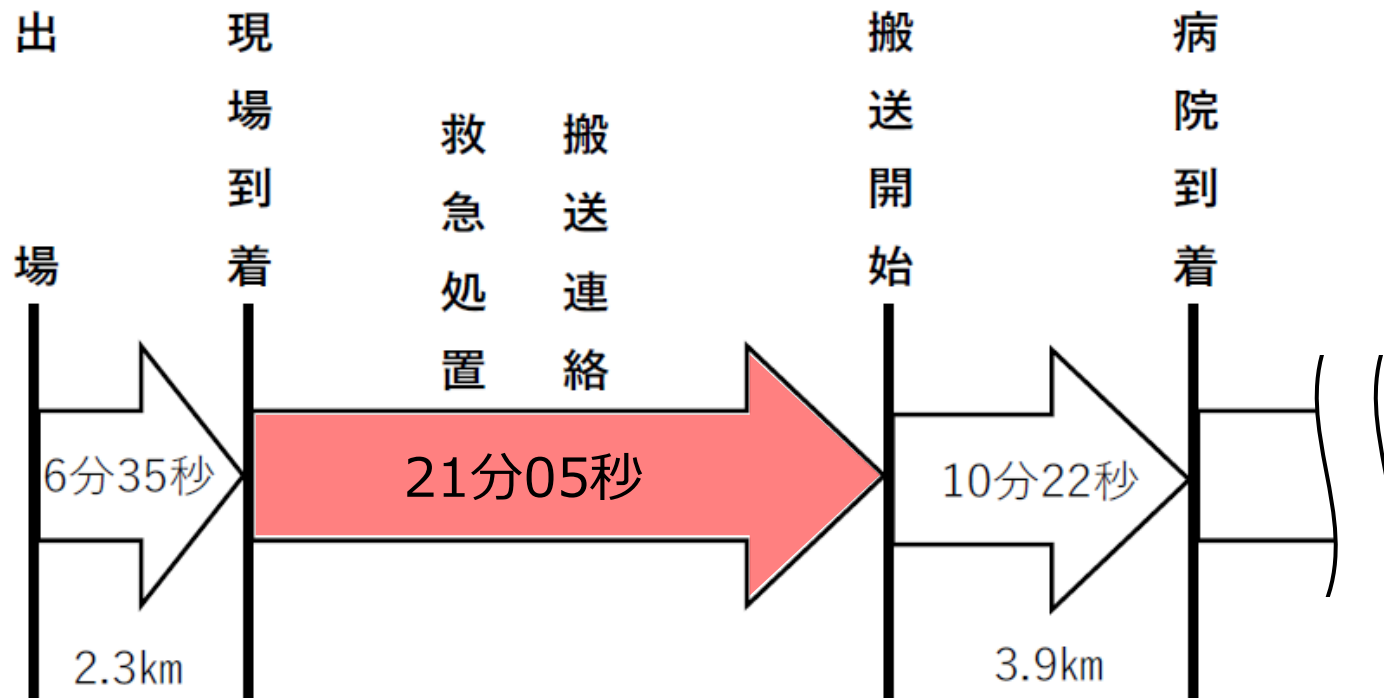


救命・救急対応

1

答：約21分は…

- 現場到着～出発の平均時間





救命・救急対応

1

救急活動の流れ①



安全確認・接触



観察・処置



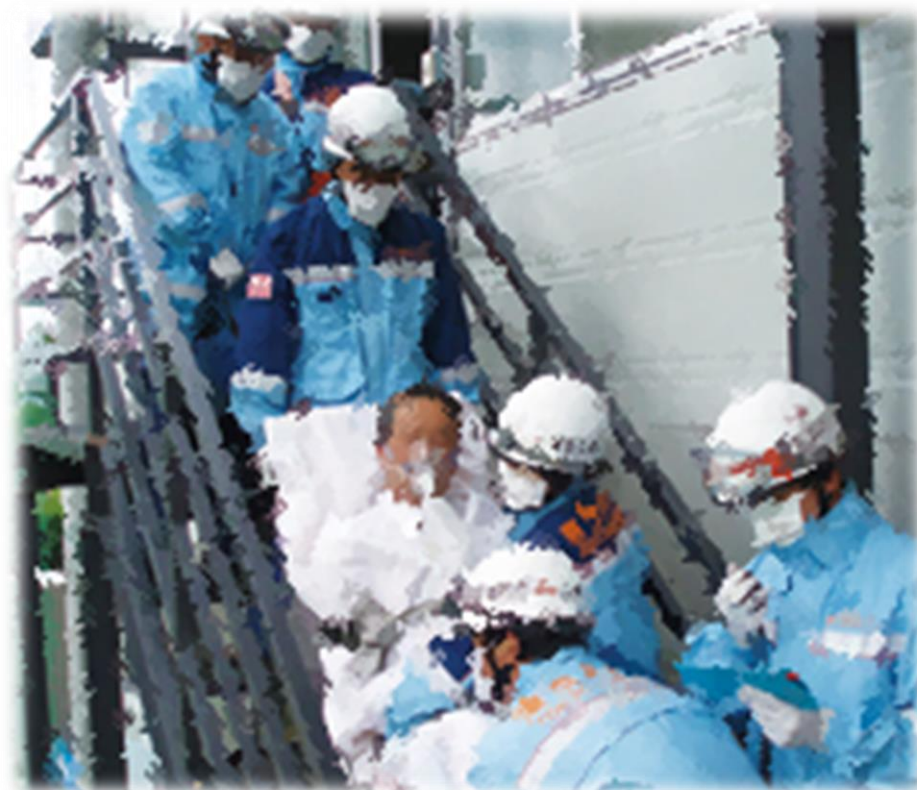
救命・救急対応

1

救急活動の流れ②



病院連絡



搬送



救命・救急対応

参考

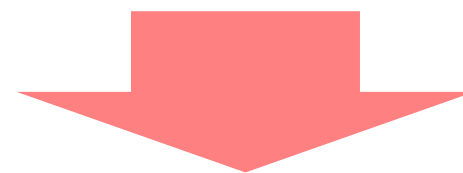
1

救急活動の流れ③



病院連絡

5 病院 20分



東京ルール



救命・救急対応

参考

1

東京ルール

救急医療ルールブック

保存版

大切な命を 助けるために

東京ルール

みんなを守る救急医療



東京医師会 | 東京消防庁 | 東京都福祉保健局

東京ルールⅠ

救急患者の迅速な受け入れ

救急患者が迅速に医療を受けられるよう、地域の救急医療機関がお互いに協力・連携して救急患者を受け入れます。



東京ルールⅡ

「トリアージ」の実施

緊急性の高い患者の生命を守るため、救急医療の要否や診療の順番を判断する「トリアージ」を、救急のさまざまな場面で実施します。



東京ルールⅢ

都民の理解と参画

都民の大切な「社会資源」である救急医療を守るために、都民一人ひとりが適切な利用を心がけます。





救命・救急対応

1

心臓が止まった場合の対応①





救命・救急対応

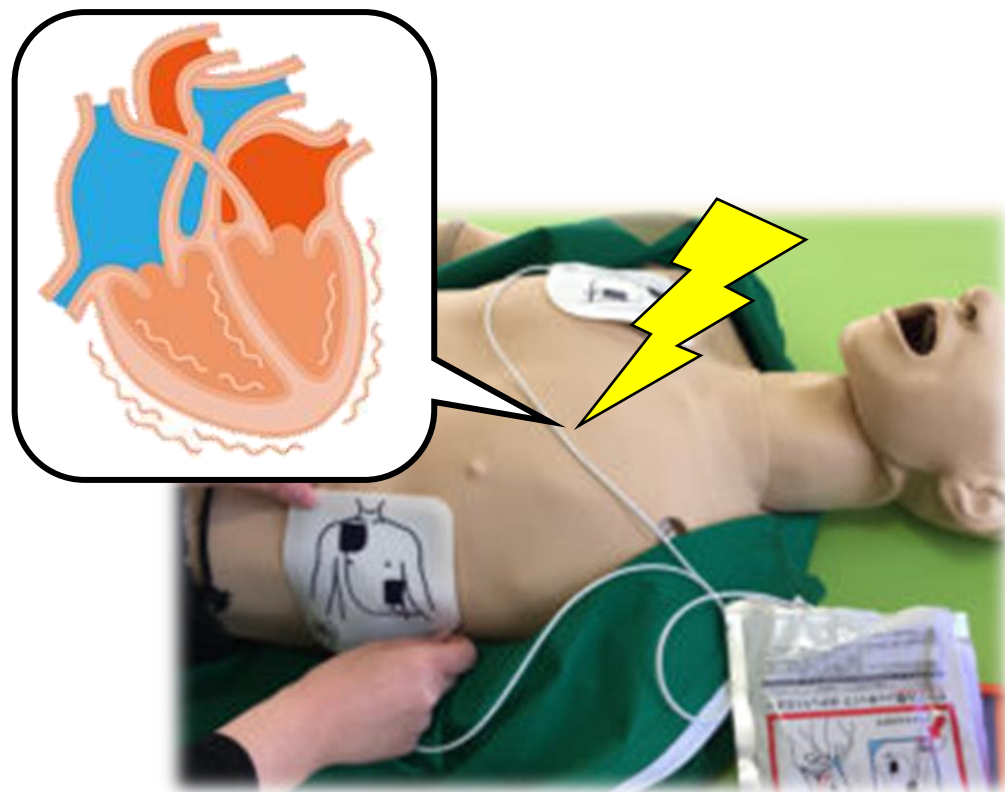
1

心臓が止まった場合の対応②

心臓マッサージ



除細動（電気ショック）





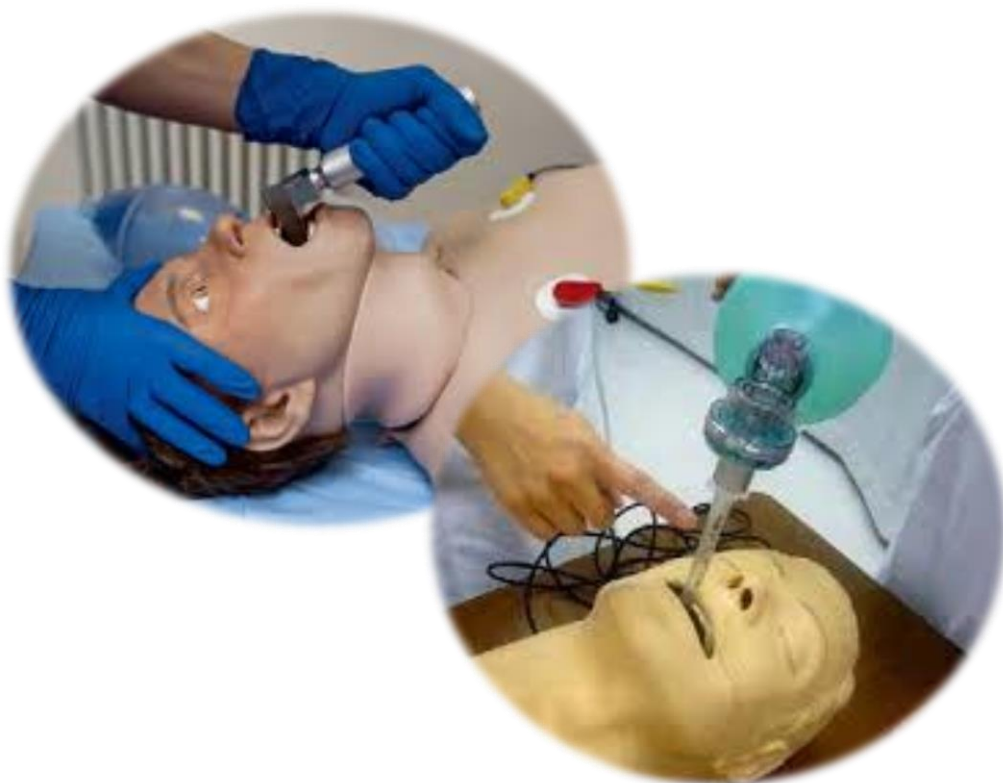
救命・救急対応

1 心臓が止まった場合の対応。

薬剤投与(点滴)



気道確保・人工呼吸





救命・救急対応

1

新しい取組の背景①



説明と同意



望まない意思を
示される



救命・救急対応

1 新しい取組の背景②

「本人の望む対応」と
「救急隊の行動」に**相違**



本人の望む対応
(自宅でお看取り)



救急隊の行動
(救命を主眼)

救急隊の対応は？



救命・救急対応

1

新しい取組の背景③

これまでは
心臓マッサージ等を
継続したまま搬送



2 ACPに関連した新しい取組

ACPに基づく**本人の意思**を

可能な限り**尊重**するため



救急業務懇話会に諮問



2

ACPに関連した新しい取組

キーワードは

かかりつけ医



2 これまで

心臓マッサージ等を継続したまま搬送



ACP

心臓が止まっている状態を発見





2

新しい取組

活動と並行し、**かかりつけ医**に連絡



ACP

心臓が止まっている状態を発見





2

運用要件

心臓が止まっている方
すべてが対象となる訳ではありません

ACP・成人

人生の
最終段階

本人の意思

想定された
心肺停止



2 運用の流れ

① 心臓マッサージ



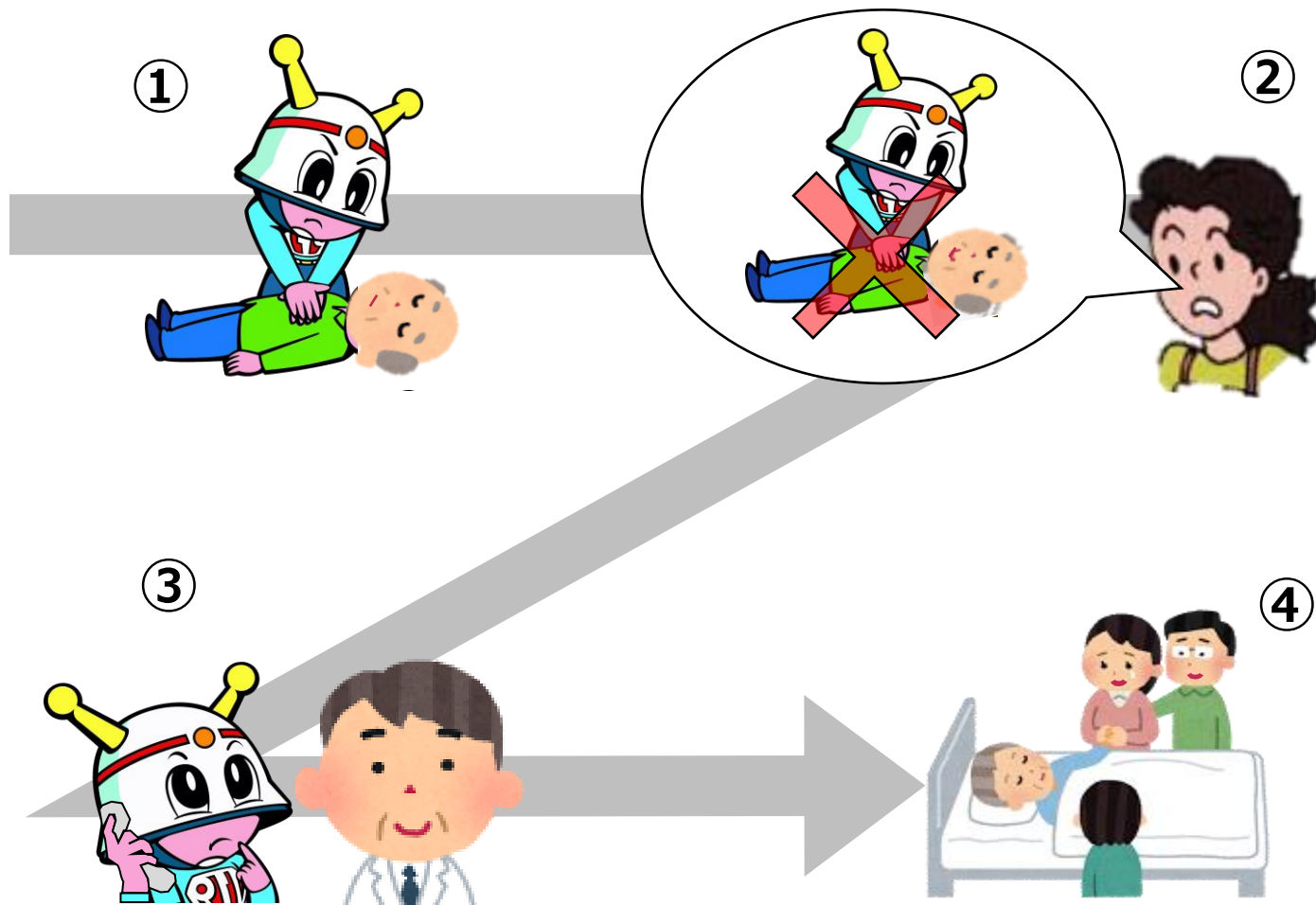
② 望まない意思
表明



③ かかりつけ医
連絡



④ 心臓マッサージ
等の中止・引継





2

事例紹介 その1

概要

70歳代の男性。自宅で意識のない状態を発見した家族が、かかりつけ医に連絡するも電話が繋がらなかったため救急要請。

救急隊到着時、心肺停止。家族から望まない意思を示されたため、再度かかりつけ医に連絡したところ電話が繋がりに、本人の意思に基づき心肺蘇生を中止し、医療機関に搬送することなく、かかりつけ医に直接引き継いだ。

要請者

家族(別居)

要請理由

医師と連絡つかず

ACP

有・無

結果

Dr引継・家族引継・搬送



2

事例紹介 その2

概要

90歳代の女性。自宅で呼吸が荒い状態を発見した家族が、ACPがあったことを**失念していた**ため救急要請。

救急隊到着時、心肺停止。救急車へ収容している途中で、訪問看護師から「ACPがなされている」との連絡があった。家族へ確認した上でかかりつけ医に連絡し、本人の意思に基づき心肺蘇生を中止し、救急車内から自宅内に搬送し家族に引き継いだ。

要請者

孫(同居)

要請理由

家族ACPがあったことを失念

ACP

有・無

結果

Dr引継 ・ **家族引継** ・ 搬送



2

事例紹介 その3

概要

80歳代の男性。デイサービスの送迎車内で意識消失した状態を発見した職員が、心肺蘇生を望まない意思を把握していたが**心肺停止かどうか判断できなかった**ため救急要請。救急隊到着時、心肺停止。職員からACPがなされていることを示されたことから、かかりつけ医に連絡した結果、「**想定していた状況と現在の症状が合致しない**ため医療機関へ搬送」との指示があったため、救急隊は心肺蘇生を継続し直近医療機関に搬送した。

要請者

デイサービス職員

要請理由

要請時CPAではなかった

ACP

有 ・ 無

結果

Dr引継 ・ 家族引継 **・ 搬送**



2

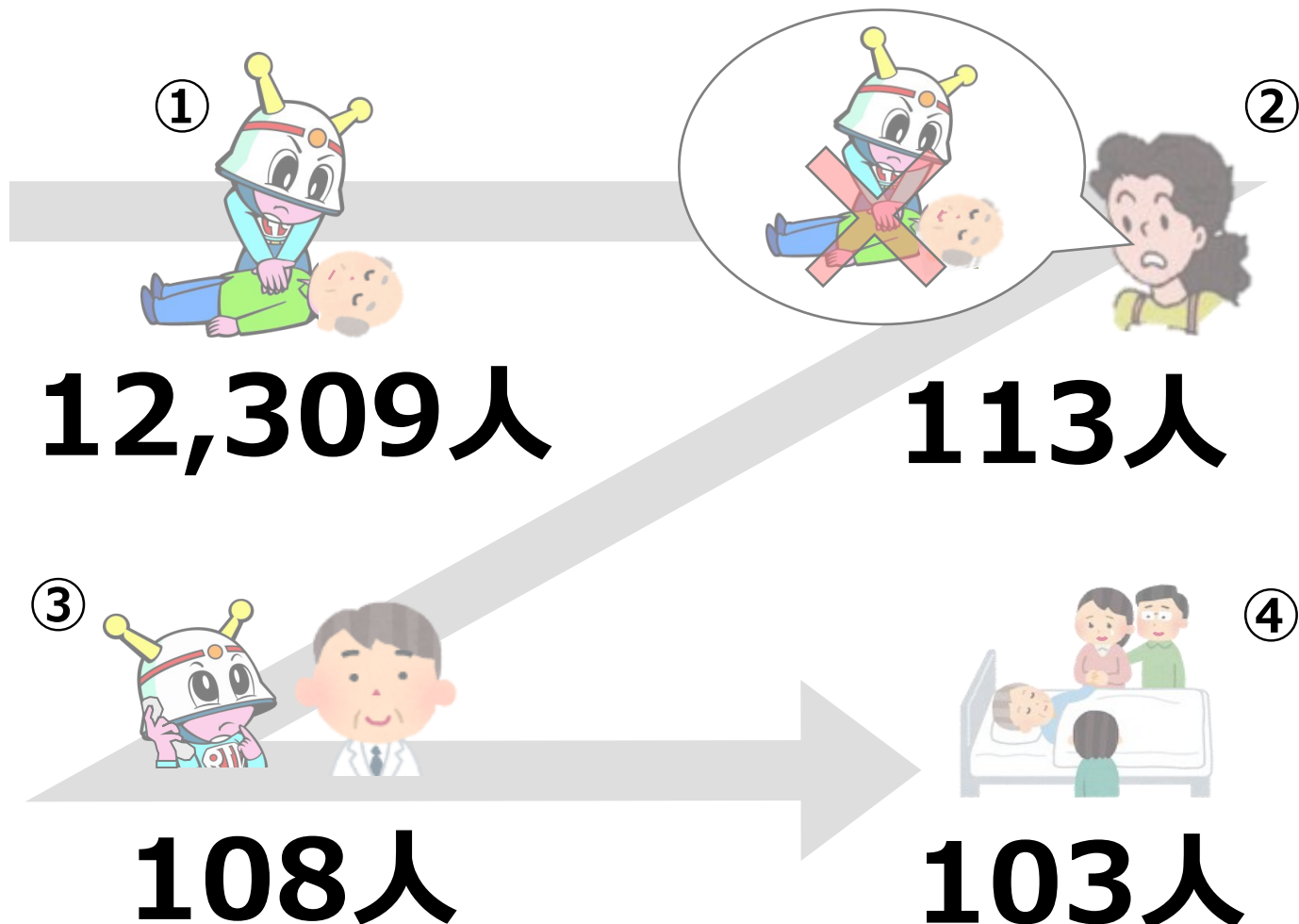
運用開始後の件数

① 心臓マッサージ

② 望まない意思表示

③ かかりつけ医連絡

④ 心臓マッサージ等の中止・引継

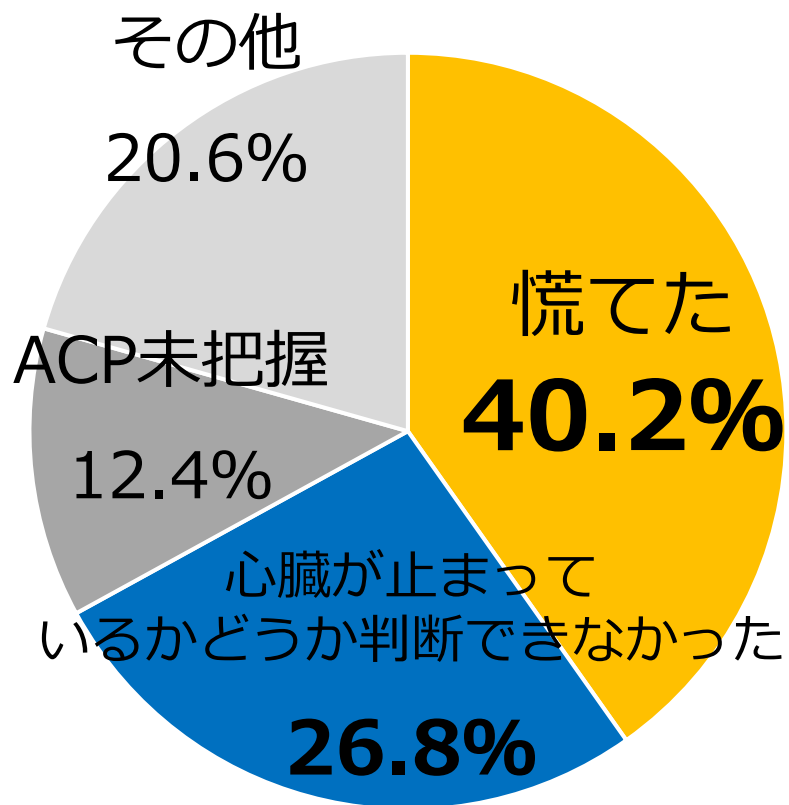




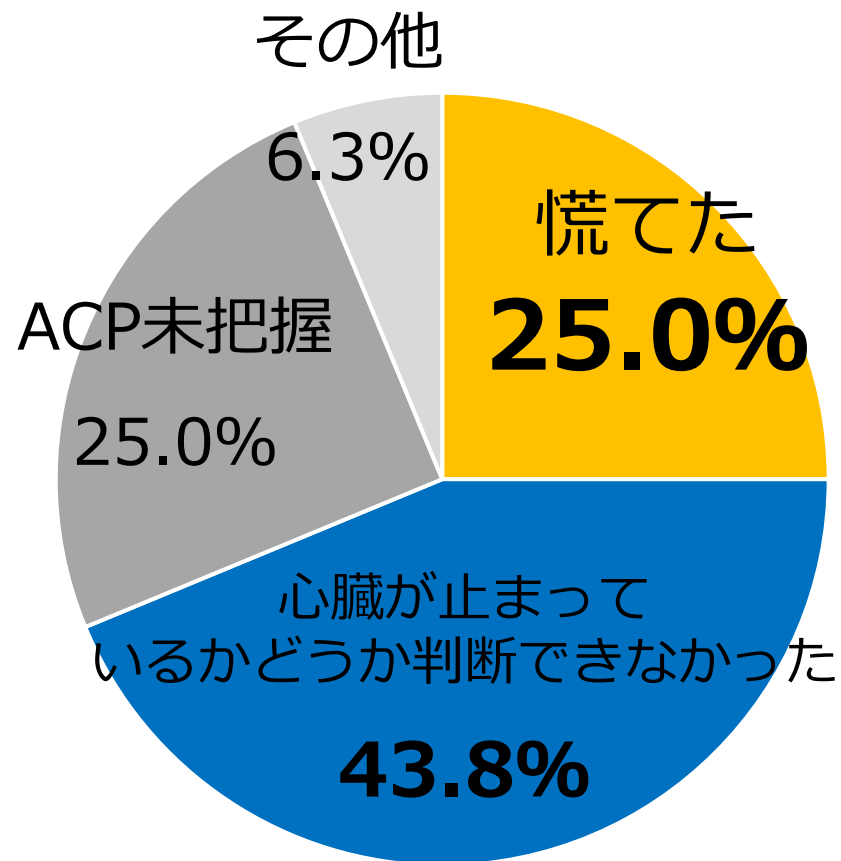
2

119番通報の理由

口頭



書面





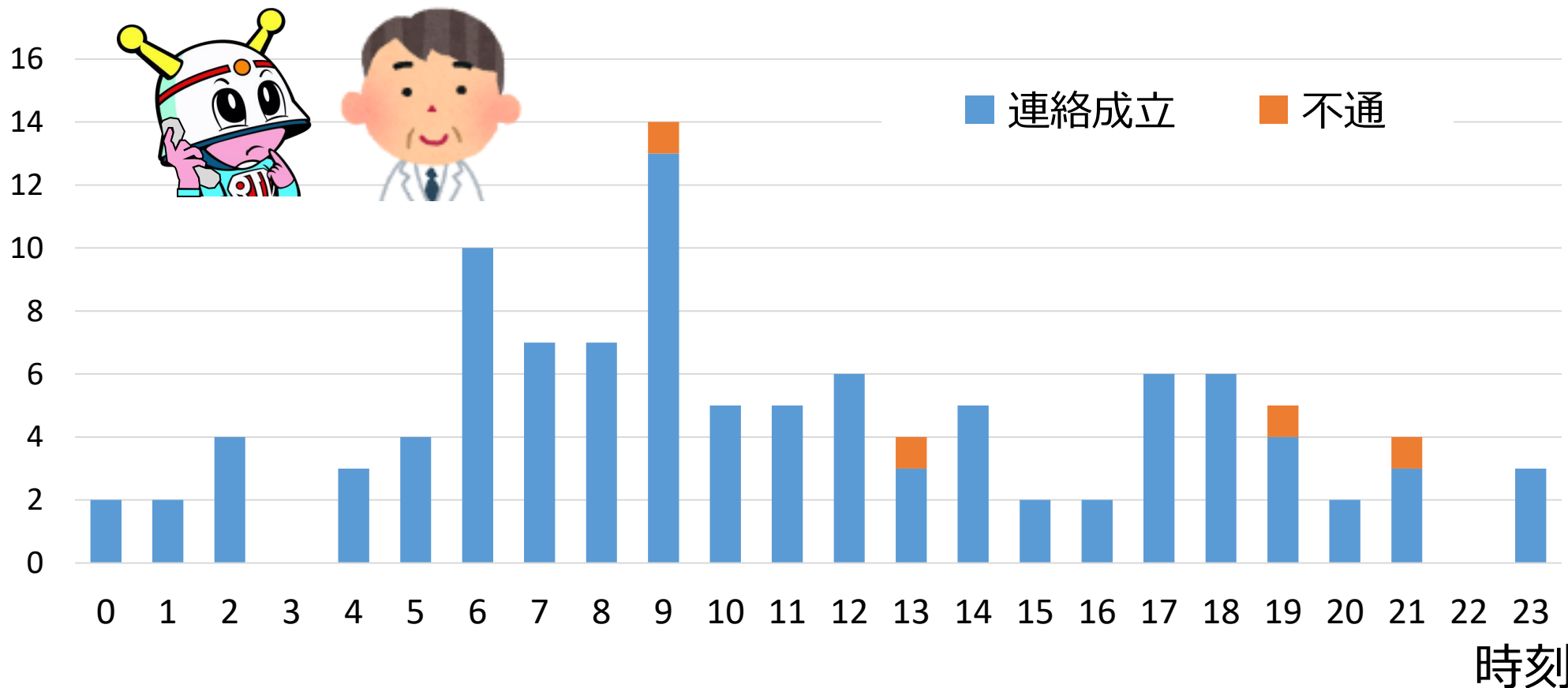
2 通報理由から考えられること

- ACPが行われていても
慌てたり
心臓が止まっているかどうか判断できず
救急要請に至る場合がある



2 かかりつけ医との連絡状況

件数



※N=112 (家族等が連絡先を把握していなかった1件を除く)



2 連絡状況から考えられること

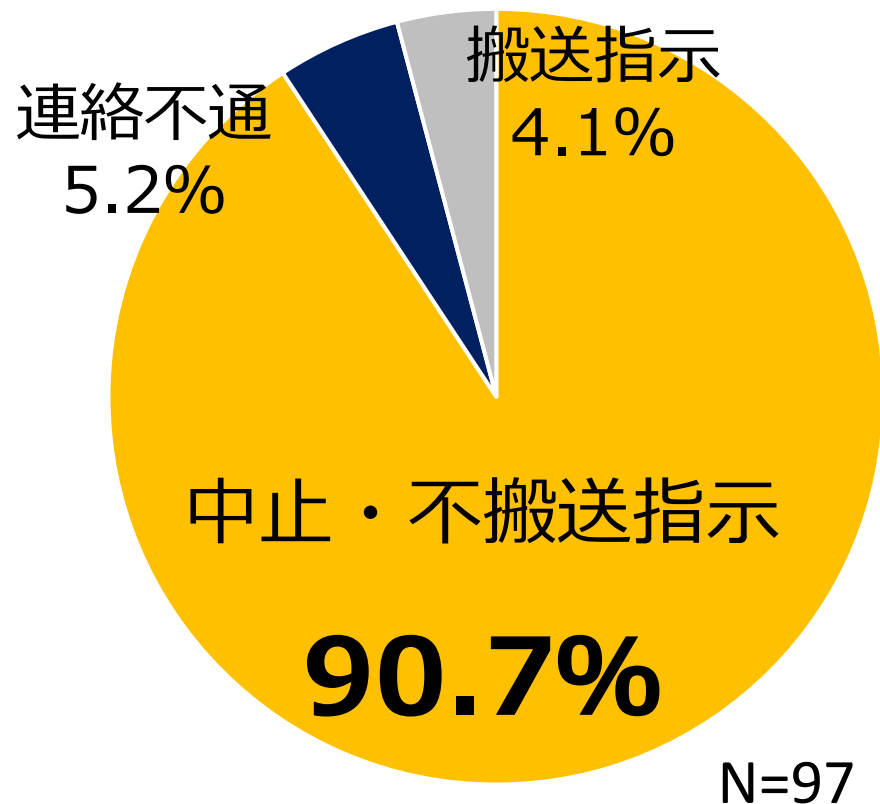
- ・ 時間帯を問わず

かかりつけ医等に連絡がついている

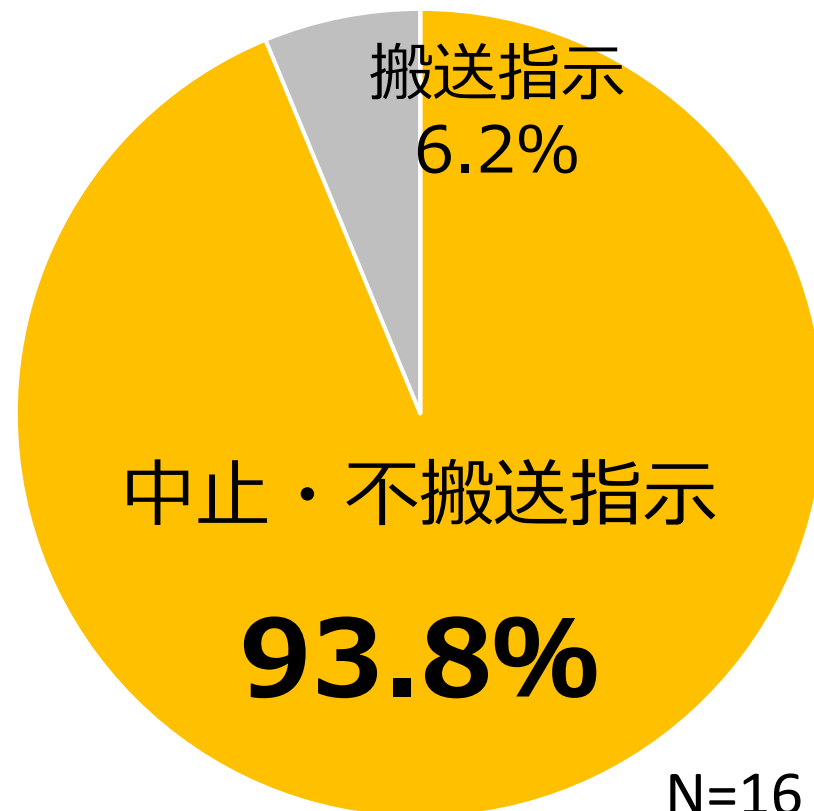


2 かかりつけ医からの指示

口頭



書面

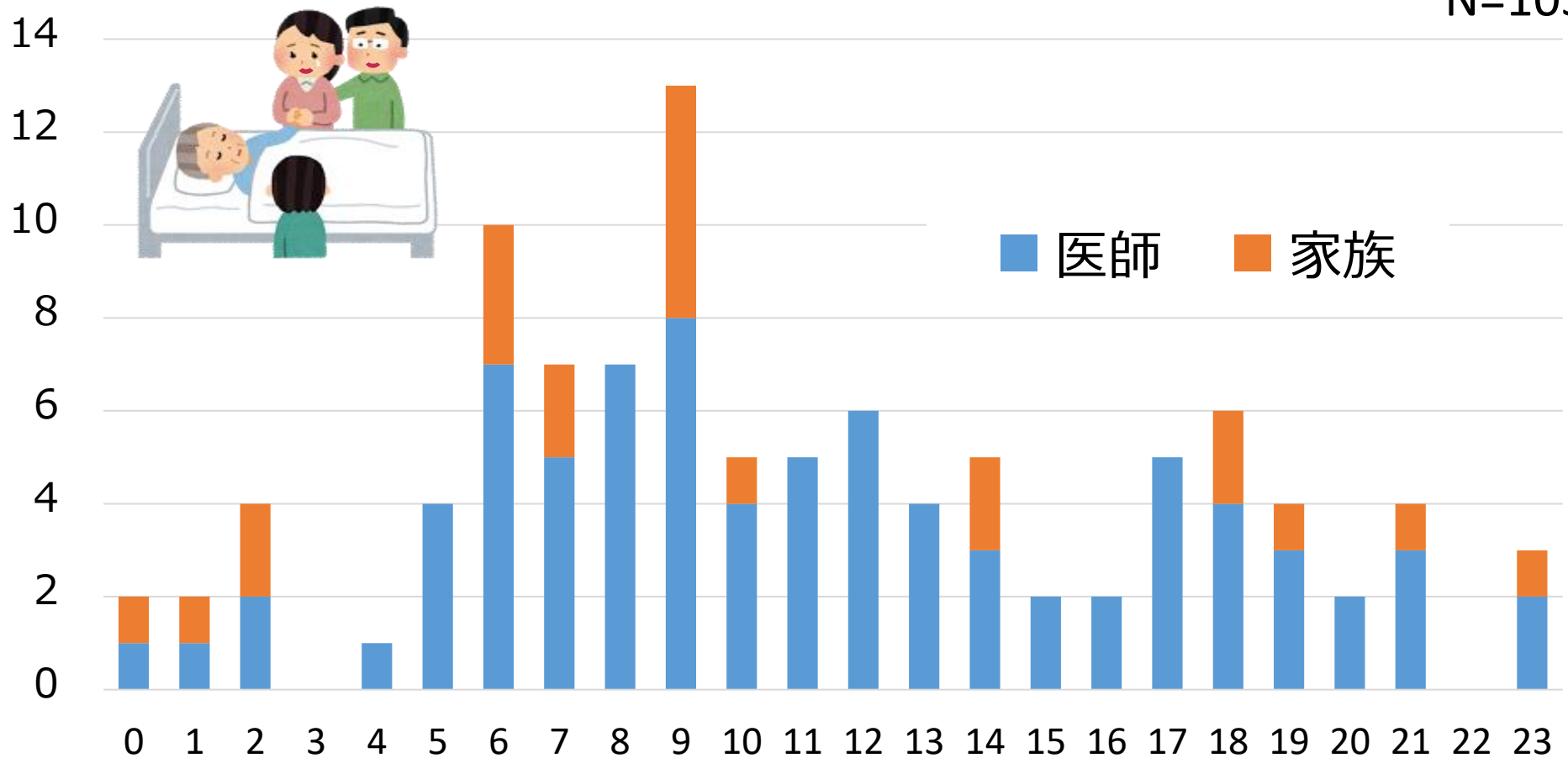




2 かかりつけ医への引継状況

件数

N=103



時刻



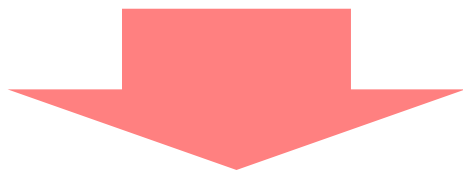
2 引継状況等から考えられること

- 家族等からの情報提供を「きっかけ」に本人の意思に沿うことが可能
- 時間帯を問わず、かかりつけ医が現場に到着できている。



2 まとめ

救急隊が**かかりつけ医**と連携することで
ACPに基づく本人の意思を尊重できるように



- 事前に、繰り返し話し合う（= A C P）
- ご本人の意思を確認・共有する
- かかりつけ医と連絡が取れる